

宍粟市太陽光発電設備導入者向けアンケート回答結果

1. はじめに

宍粟市が行う宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業における太陽光発電システム導入補助金は平成22年度より開始し、1年間で86件の申請を受けて補助を行った。平成21年度に国の補助制度が復活し、余剰電力買取制度がスタートするとともに、22年度から宍粟市独自の補助が始まったことにより、太陽光発電システムの導入件数は飛躍的に増えているが、導入にあたっての課題や問題点と、導入後の状況等を調査することにより、今後の補助金のあり方を検討をするためにアンケート調査を行った。

2. アンケート実施状況

表1 アンケート実施情報

項目	結果
アンケートの対象者	平成22年度にグリーンエネルギー機器導入事業(太陽光発電)に申請し補助金の交付を受けた者。
実施日	平成23年6月24日～7月15日
対象者数	86人
回答者数	63人
回答率	73%

3. アンケート質問内容

表2 アンケート質問内容

	回答方式	質問内容
質問1	多肢選択式	太陽光発電システムの導入を決定した理由は何でしょうか。
質問2	多肢選択式	補助金についての情報はどこで知りましたか。
質問3	選択式	太陽光発電システムを導入するうえで、補助金制度の影響度を教えてください。
質問4	選択式	太陽光発電システムを設置された建物の区分を次の2つから選んでください。
質問5	自由記入方式	4の質問で既築と答えた方は導入した施設は築何年でしょうか。
質問6	多肢選択式	導入にあたっての問題。
質問7	選択式	太陽光設備に対する当初の予算額と実質的な出費額についての金額差を教えてください。
質問8	選択式	現在、宍粟市が助成を行っている補助金は県下では最高額となっていますが、補助金について満足されていますか。
質問9	選択式	太陽光発電設備を導入した点の満足度をお聞かせください。
質問10	自由記入方式	その他に希望や要望、感想があればお教えてください。
質問11	自由記入方式	月毎の電力消費量と発電容量
質問12	自由記入方式	基本情報（世帯主の年齢・世帯人数・おすまいの地域）

4. アンケート結果

質問1 太陽光発電システムの導入を決定した理由は何でしょうか。(複数選択)

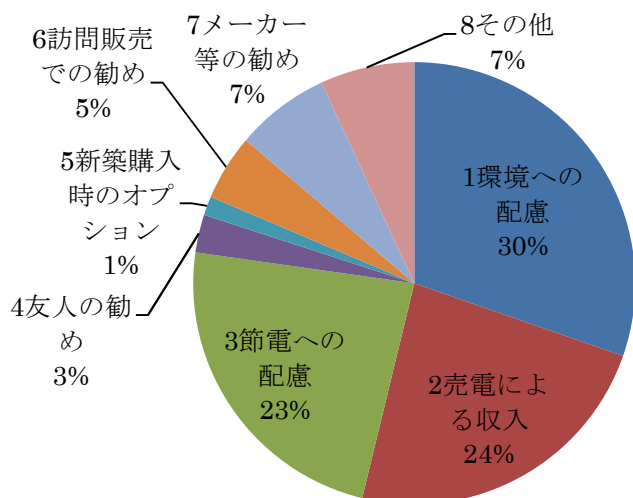


図1 アンケート質問1回答結果

図1の結果が示すように、太陽光発電設備の導入を決定した理由は『環境への配慮』が最も多く、次いで『節電への配慮』が多い結果であった。このことから導入者の多くは売電収入などの経済面への期待よりも環境面での期待が大きいと言える。一方で訪問販売による勧めが5%あり、設置者の十分な理解を得た上での契約がなされているかの調査の余地がある結果であった。

質問2 補助金についての情報はどこで知りましたか。(複数選択)

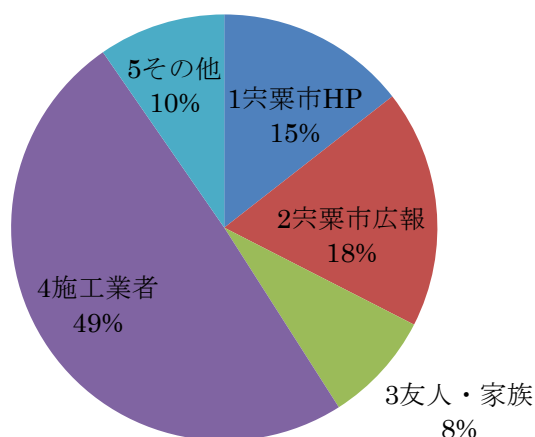


図2 アンケート質問2回答結果

図2の結果から宍粟市及び国が行う補助金制度について認知はまだまだされておらず、約半数が施工業者を通して補助金の情報を得た事が分かった。宍粟市が補助金制度の情報周知は主に宍粟市HPもしくは宍粟市広報により行っている。これらは宍粟市HPが15%、宍粟市広報18%であり、本市の出す情報で補助金を知ったのは33%であり、市民に向けての周知方法を検討する必要がある結果であった。

質問3 太陽光発電システムを導入するうえで、補助金制度の影響度を教えてください。(選択)

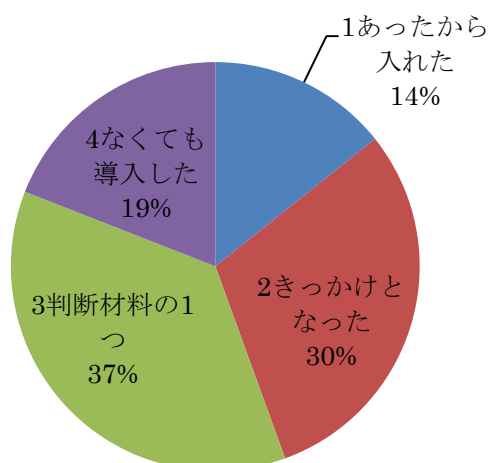


図3 アンケート質問3回答結果(選択)

図3の結果から太陽光発電の導入のきっかけとして補助金が『あったから入れた』と『きっかけとなった』『判断材料の一つ』が合わせて81%となり、『なくても導入した』の19%を大きく上回り、補助金制度が太陽光発電の普及に寄与していることが窺える結果となった。

質問4及び5 太陽光発電システムを設置された建物の区分を次の2つから選んでください。

4の質問で既築と答えた方は導入した施設は築何年でしょうか。

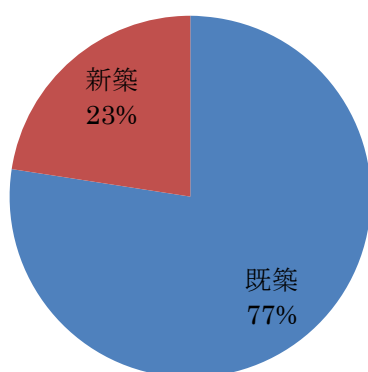


図4 アンケート質問4回答結果(自由記入)

図4の結果からほとんどの導入者は太陽光発電システムを既築住宅に設置していることが分かった。住宅の建築年数については平均値が13.9年、中央値は10年であった。最も建築年数の長いところは70年であった。

質問6 導入にあたっての問題。(多数選択)

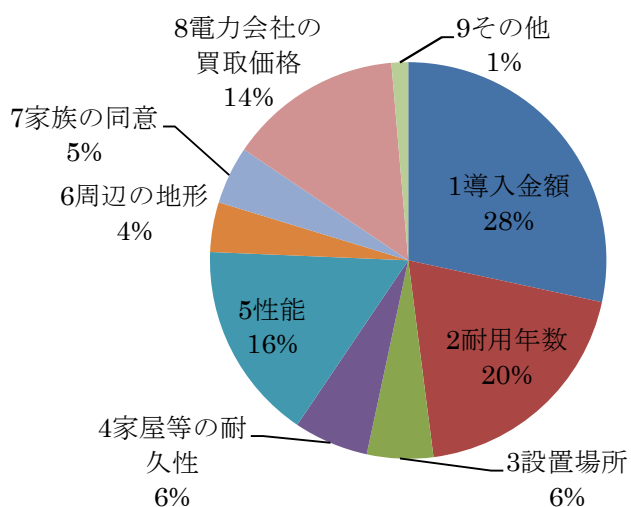


図5 アンケート質問6回答結果

導入にあたっての問題は導入金額が28%と最も高く、次いで耐用年数が20%高い結果となりその他に性能が16%と高い結果であった。また、14%ある意見に電力会社の買取価格がある。このことから導入にあたる問題の多くは設備の初期投資額が高いことが最も大きい問題と言える。また、導入を考えても売電収入や環境への負荷を抑えるに見合った性能が未だ備わっていないと考える意見が多いことが分かる。導入金額の問題については補助金の必要性の高さが窺える。また、電力会社の買取価格という意見が大きいことから現在の買取価格制度から固定買取価格へと移行することの希望が大きいと考えられる。

質問7 太陽光設備に対する当初の予算額と実質的な出費額についての金額差を教えてください。(選択)

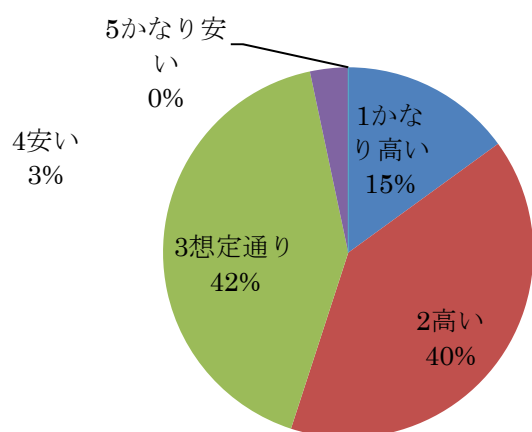


図6 アンケート質問7回答結果

図6のアンケート回答より導入者の過半数以上が当初に想定していた金額以上の金額が必要であったことが分かる。逆に想定よりも安いと感じた導入者は3%とかなり少ない結果となった。このことから未だ太陽光発電設備は導入者にとって高額な設備であることが窺える。

質問8 現在、宍粟市が助成を行っている補助金は県下では最高額となっていますが、補助金について満足されていますか。(選択)

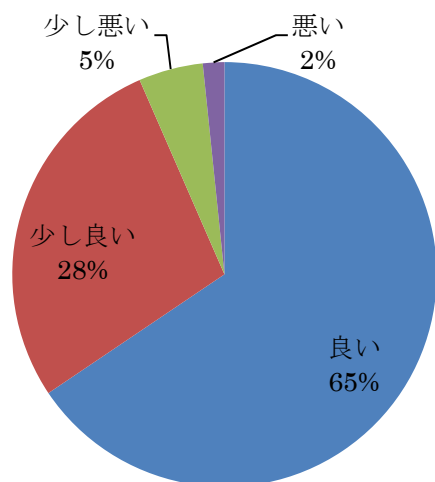


図7 質問8回答結果

図7より市の補助金の満足度は良い65%、少し良い28%という結果となり、満足度に関してはかなり多くの方が市の補助金に好意的評価があった。

質問9 太陽光発電設備を導入した点の満足度をお聞かせください。(選択)

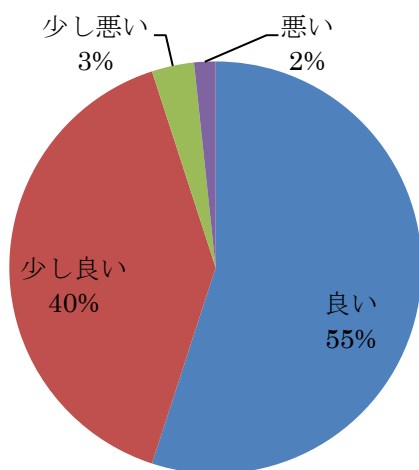


図8 質問9回答結果

太陽光発電設備を導入したことについてほとんどの導入者が良い評価をしていた。少し良いと評価した導入者も40%と高く、太陽光発電設備への満足度は高いと言える結果であった。

質問10 その他に希望や要望、感想があればお教えてください。(自由記入)

質問10について、導入者の意見は以下のとおりであった。

表2 質問10 回答結果

No.	自由記入
1	太陽光設備を導入しても停電してしまえば意味がない。これから蓄電もできるシステムを安価で導入して、新しい社会を創る必要がある。
2	もう少し補助金が出ればいいのに
3	導入して良かったです。
4	設置費は高額であったが日々の表示を見ると節電を心がけるようになった。今の時期、一般の人にも設置意向のアンケートを取り設置を考えている人にアドバイス、特に費用面で相談に乗ること。無料見積を推進しては？
5	宍粟市からの補助で予定より早く減価償却できそうでありがたいと思っています。広報では気付かなかったのですが、制度があったのですね。(それとも大々的になると予算面が大変なのでわざとはずしたのでしょうか?) 屋根上に設置しているので、夏の暑さ、冬の寒さが、ワンクッションおいて屋根にくるので、室内の気温が割と一定で案外、断熱材になっているのでは…と思います。
6	既導入者への別途追加の電力買取価格等で補助をお願いします。補助金は大変助かりますが、実質的な出費額が大変高額な為、償却するのに約15年(金利・補修費含まず)かかる予定です。
7	まだ数ヶ月なのでもう少し期間が経たないとよく分かりません。
8	宍粟市の知名度は県下でも低い。宍粟市=エコタウンの推進をこれからも続け、宍粟市の知名度を上げる努力をしてほしい。
9	原発廃止に向け益々、太陽光発電が増えますように願っています。
10	現在、電力会社が1kwあたり48円で買うことになっているが、それは発電分全てではなく、自家消費と相殺してその上で余分の電力があればとのこと。普通自家消費が越えれば24円になるみたい。このことはあまり、一般には説明もされていない。設置半年で成木46本分、石油472L、CO ₂ 655kg減少しました。
11	関西電力の買上げが良いので10年間は良いと思うがそれ以後の対応がどうかと思う。今年中に部屋にも5kwをと考えていますのでよろしく。(助成は大きいと考えています。
12	多くの家庭が設置されたら良いと思います。
13	太陽光発電の全量買取制度を早期に実施して欲しい。補助対象となる施設が限定されている為、多様な施設へのモジュール設置を可能にできないだろうか?(補助とする)
14	補助金についていい事だとは思いますが、宍粟市の財政は良くないと聞きます。ペレットストーブや薪ストーブにも補助が出るようですが、大丈夫なのか心配しています。
15	夜間発電を何か考えれば、もっと効率的になると思います。蓄電池に溜めて置くとか風力と二重化する又は薪発電を行う。商用電力に替わる良い物が出て来ると思います。
16	電気代もいらないし導入してよかったと思います。

17	<p>国の補助金の額が 65 万以下(今は 60 万以下) となっています。</p> <p>本体と本体工事代がそれ以下ならいいということですが、足場代とか、なんとか…とい って別途費用を挙げて金額を上げる業者があります。私が頼んだところは全部入れてもか なり安く上がりました。設置を考える人もいるかと思いますが、よく考えていい業者に 頼みますように！</p>
18	<p>国の補助金制度よりも手続きが簡単で、補助金の受け取りもスムーズだったので助かり ました。</p>
19	<p>補助金制度についてセールスさんから聞きました。</p> <p>国、市の補助金を頂き非常に助かりました。</p>
20	<p>南向きの屋根がもう少し大きければ 5kw 位は欲しいです。</p>
21	<p>思ったほど発電しない。施行業者のアフターが悪い。</p>
22	<p>広報に載っていたのかもしれないけど、結局業者さんのチラシで補助金の事が分かった ので、あのチラシを見ていなかったら…。</p> <p>補助金等の告知はもっと誰でもどこでも目に付くようにしてもらいたい。太陽光の次は 畜エネルギー関連の補助が…。</p>
23	<p>市内業者と市外業者で補助金額に差があり、市内業者を依頼するときは割高である。</p>
24	<p>設置方位(東向き)に問題があった。</p>
25	<p>東日本災害から自然エネルギーの活用が必要となっているので買取価格を高くしてほし い。</p>
26	<p>補助金制度を知らない人が多いので、広報だけでなく有線放送、チラシ等を使って市民 に広く知らせてほしい。</p>
27	<p>国や市が工事費等全額負担し、屋根の使用料として毎月いくらか払う様にすれば、各家 の負担はなく設置件数は急激に伸びると思う。</p> <p>関西電力が代行し、電柱設置料(太陽光発電)を払うと思えば良いのでは。</p>
28	<p>太陽光発電を取りつけた事により今日はどの位電気を使ったかな、とか分かりますので 家族で節電をしようとするようになりました。良かったです。</p> <p>太陽光発電のパネルは高いので、たくさんの方が導入する為には補助金の存在は大きい と思います。</p>
29	<p>業者から 365 日悪天候でも発電すると勧められたが、曇り、雪、雨(晴れ以外)の天気 ではほとんど発電しません。聞いていた以上に発電は天候により左右され、その差が激し いことに驚きました。</p>

自由記入に関して 29 件の回答結果を得られた。その中から最も多い回答は金額についてのものでは
ない。太陽光発電設備の導入価格の高さ、電力買取価格についての回答が多い結果であった。一方で補助
金についての情報周知ができていないことが質問 10 の回答から分かる。質問 17、21、24、29
から太陽光発電設備に関し施工業者の説明不足と考えられる回答結果もあり、対策の検討が必要と考え
られた。

質問 1 1

個人情報の保護より割愛させていただきます。

質問 1 2 基本情報（世帯主の年齢・世帯人数・おすまいの地域）

1 世帯主の年齢

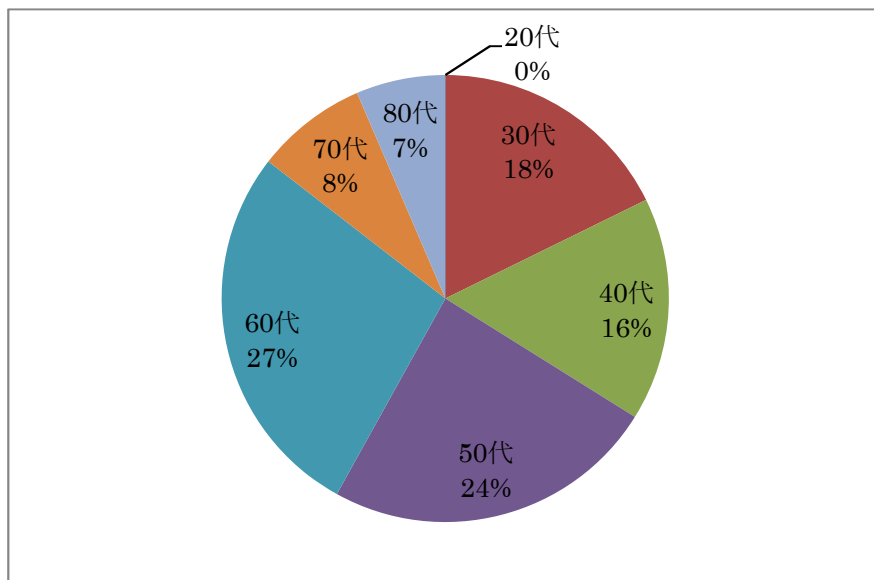


図 1 3 太陽光発電設備導入者世代別構成

2 世帯人数

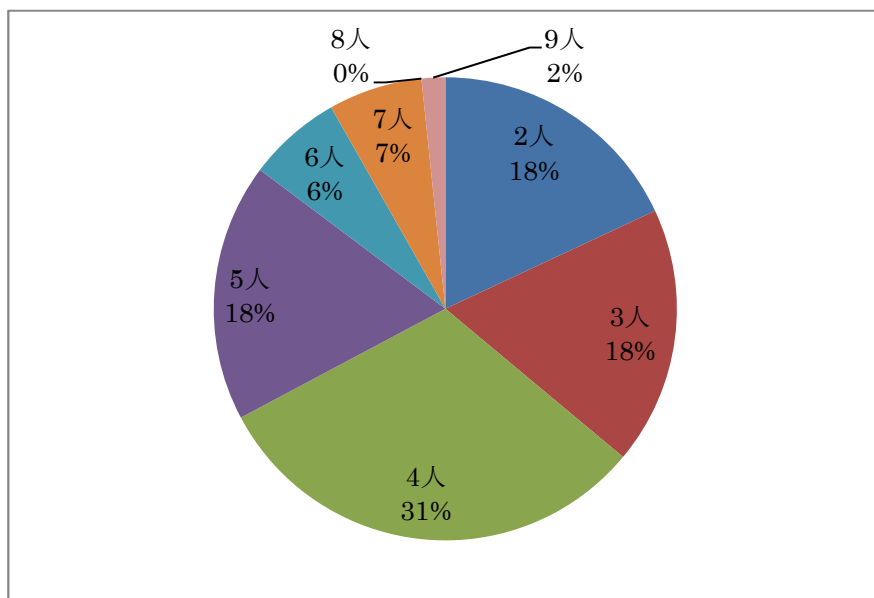


図 1 4 太陽光発電設備導入者家族構成

3 おすまいの地域

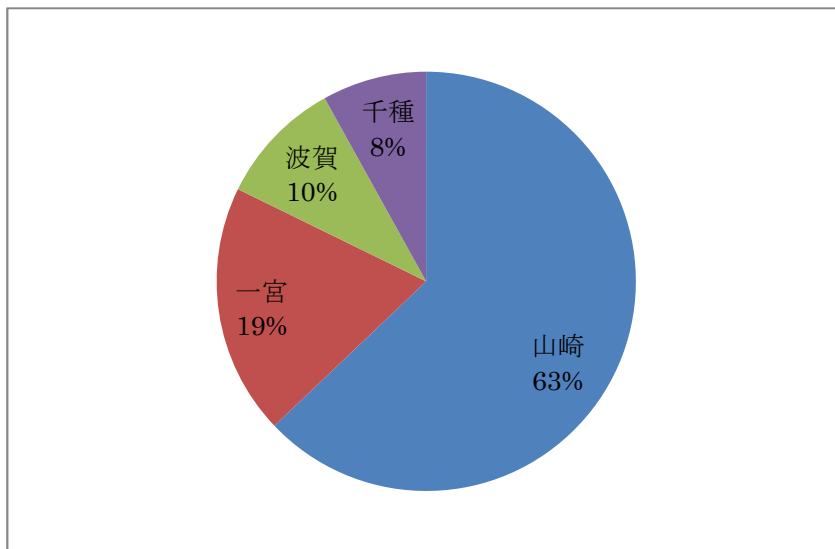


図15 太陽光発電設備導入者移住地域

質問1、2、3から太陽光発電設備の導入世帯は50代以上が多く、経済的に安定している世代であることが窺える。また、30・40代については34%であった。世帯人数においては2～3人が36%あり、少規模な世帯においても導入している世帯が多い結果となった。太陽光発電設備の導入コストの高さから若年層での導入はまだまだ少ない結果であり、若年層の経済的な安定など社会システムの改善が必要であると考えられる。

5. アンケート結果総論

今回のアンケート結果から太陽光発電に関する様々な問題点が明らかになった。

質問1から太陽光発電設備を導入すると決めた理由には環境面への配慮が大きく、市民の環境意識の高さが窺える結果となった。その一方で買取価格からの導入もある。この結果に対し、質問6では現行の買取制度への不満点があるという意見もあり、今後の改正が望まれる。

質問3、6、7、8から導入者の多くが太陽光発電設備の導入金額の高さを感じており、その中で補助金の存在が大きいことが分かる。また、アンケート結果の質問2及び10では太陽光発電設備導入の補助金についての情報の周知が十分でないと思われる結果となったため、今後さらに市民向けの情報周知が必要である。

今回のアンケートより補助金の必要性と情報周知の徹底が必要ということが分かったが、その他少数意見の中に訪問販売による勧めや業者による誤った情報などが見られるとともに、他地域では導入者に対する悪質な商法を行う業者が見受けられることから、今後正しい情報の周知が重要であるとする。

また、現在我が国において再生可能エネルギー政策の見直しが行われており、こうした動向に注視しながら限られた財源による、より有効的な補助制度のあり方についても検討を行うことが必要である。